

❁ 議会だより

第46号

水・緑・歴史が薫る文化創造都市 木津川市議会



力を結集して 木津第二中学校 体育大会

- 議員定数削減は継続審査 本会議・請願 2~4
- 経常収支比率2ポイント改善 決算委員会 6~7
- ごみ袋有料化で基金創設 常任委員会 8~10
- 議員定数削減を求める請願書 特別委員会・ 11~12
- 17人が市政を問う 一般質問 15~23

市民と議会のつどい

11月10日(土)

(詳しくは25ページをご覧ください。)

議員定数の削減について
公聴会を開催します

11月25日(日)

(詳しくは13ページをご覧ください。)

は継続審査

9月定例会は、8月30日から9月27日まで、29日間の会期で開催した。議案16件、同意2件、認定10件、承認1件、請願1件、議員提案1件を審議し、請願、議員提案を除き、可決・同意・認定・承認した。

29年度 一般会計決算

29年度決算の収支は、3億4974万円の黒字。30年度の繰り越しを差し引いた実質収支は、2億5477万円の黒字。

収入は、木津中央・木津南地区の新築家屋の増加で固定資産税が増収。

Q 納税義務者が増えているが、納税額が伸び悩んでいる要因は。

A 若い世代の転入者が増加している。さまざまな控除があり、納税額が思うほど伸びていない。

反対討論

家計消費はマイナスで暮らしは大変なのに、有効な施策を行わなかった。けいはんな新線やリニ

ア・北陸新幹線には熱心。不公正な同和行政が残る。

宮嶋 良造

賛成討論

市長は危機的状況であるかのような言い方で職員給与カットを強行した。見直すべき事業をそのままにし、市民負担を増やした決算に反対。

西山幸千子

賛成多数で認定

(賛成15人・反対5人)

ア・北陸新幹線には熱心。不公正な同和行政が残る。クリーンセンター整備や教育施設等の充実、道路網整備などまちづくりを推進したことは評価。健全な財政運営をされることを期待し賛成。

伊藤紀味枝



新築家屋が増加する城山台地区

移動図書館の廃止

バスの老朽化により、31年3月末で移動図書館「いずみ号」を廃止。

九社前串朗

Q 図書館協議会での協議の状況は。

A 「いずみ号」の老朽化により新規購入が必要。木津エリアだけの運行になっており、加茂・山城地域との公平性が図れないことを説明し、概ね了承された。

議員定数条例の改正

賛成多数で可決 (賛成13人・反対7人)

提出者 高岡 伸行

賛成者

谷川 光男・島野 均

議員定数を22人から20人に改正するもの。

Q なぜ、廃止検討時に市民参画を求めなかったのか。

反対討論

A 非常に難しい問題であり、市民の代表である議会での審議を重視した。利用者である子どもや

質疑終了後、議員定数及び議員報酬検討特別委員会に付託し、継続審査することに決定。

議員定数削減



拠点収集場所でのごみ回収(兜台)

循環型社会推進基金 条例の制定

ごみ袋有料化にかかる手数料の収益と使途の透明性確保のため基金を創設。

修正案を提出

宮嶋・森岡から条文の第1条「…を進め、次世代に豊かな自然環境を継承する」を削る修正案が出された。

修正案賛成討論

Q 条文に「次世代に豊かな自然環境を継承する事業の推進」との言葉があるが、ごみ袋有料化の目的と合致しないのでは。

A ごみ減量化やリサイクルの推進が目的ではあるが、ひいては環境問題に資するものと考える。

ごみ袋の有料化には反対の立場であるが、自然環境へ配慮することに異存はない。表現が漠然として、使途を明らかにするための修正案に賛成。

西山幸千子

原案賛成討論

ごみ有料指定袋の収益は、さらなるごみ減量化

・再資源化施策の貴重な財源であり、基金設置は、使途の透明化を図る上で適切な措置である。

谷口 雄一

修正案は賛成少数で否決
(賛成5人・反対15人)

原案は全員賛成で可決

保育所条例の改正 財産の無償譲渡

昨年度、梅美台保育園を完全民営化し、「公立保育所民営化等実施計画」を策定した。

来年4月1日に兜台保育園も完全民営化する。

民営化にあわせ、建物と遊具、その他の備品は、愛光福祉会へ無償譲渡する。なお、土地は10年間無償貸与する。

反対討論

市は市立保育園のほとんどを統廃合や民営化しようとしている。公的保育の後退は、保

育全体の質を落とす恐れがあり、条例改正に反対。

森岡 譲

賛成討論

保育所の民営化は、特色ある運営ができ、保育ニーズに対応したサービスの向上が図れる。何より子どもが健やかに育つ環境の充実ができる。

高岡 伸行

賛成多数で可決
(賛成15人・反対5人)

福祉医療費の 市の上乗せ廃止

身体障害者手帳1・2級、療育手帳A。また3級かつ療育手帳B判定を受けている者のうち、府の所得基準を超過する者にもこれまで市独自の上乗せ給付を行ってきた。来年7月31日で市独自措置を廃止する。対象者は約40人。

反対討論

受給者は10年で200人増えたが、事業費はピーク時から1387万円減少。所得基準を超える障害者を排除する必要はない。市独自施策を守れ。

宮嶋 良造

賛成討論

障害者の方々が、社会の一員として立派に役割を果たされて、所得のある方々については、社会の一員として認めるべきである。

長岡 一夫

賛成多数で可決
(賛成15人・反対5人)

人事案件

財産区管理会

管理委員決まる

旧北村旧兎並村旧里村

勝田 信三

旧加茂町 若本 達也

後期高齢者医療決算

要支援・要介護1の方が
少なくなっている。

収入 8億2121万円、

支出 8億1240万円、

収支は881万円の黒字。

要支援に該当する高齢

者は、チェックリストで
判断され、安上がりの訪
問介護と通所介護の地域
支援事業に移行。弱者を
排除する制度に反対。

反対討論

保険料の特例軽減が廃
止され、被保険者の保険
料が増えた。2年ごとに
保険料が値上げされ、75
歳の年齢で差別する医療
制度に反対。

森岡 譲

賛成多数で認定
(賛成15人・反対5人)

森岡 譲

賛成多数で認定

(賛成15人・反対5人)

29年度決算

監査報告(要約)

収入 46億2442万円、
支出 43億7824万円、
収支は2億4618万円の
黒字。

全ての会計の実質収支
は黒字であるが、一般会
計の実質単年度収支は、
昨年に引き続き赤字であ
る。市債残高も大型公共
事業の進捗に伴い、年々
増加している。

職員は、常に経費削減
を意識し、市民サービス
が低下しないよう持続可
能な行政運営に努められ
たい。

在宅サービスの利用
割合が増えている。介護
認定者は増えているが、

認定者は増えているが、

(万円未満の金額は切り捨て)

特別会計等決算状況

特別会計	収入額	支出額	公営企業会計	収入額	支出額
国民健康保険	82億2822万円	78億9683万円	水道事業	収益的収支	17億3618万円
後期高齢者医療	8億2121万円	8億1240万円		資本的収支	17億6914万円
介護保険	46億2442万円	43億7824万円	公共下水道事業	収益的収支	23億4923万円
4財産区	1626万円	1475万円		資本的収支	5億3988万円

一般会計における主要財政指標

区分	29年度	28年度	数値の説明
財政力指数(3力年平均)	0.654	0.655	指数が1に近いほど財源に余裕がある
経常収支比率	95.8%	97.8%	財政構造の弾力性を判断する指標 高いほど財政の硬直化を示す
実質公債費比率(3力年平均)	10.3%	11.0%	市の収入に対する実質的な借金の比率

<http://www.kizugawa-city.stream.jfit.co.jp/>

議会中継 スマホに対応



インターネットで市議会の
生中継や録画配信が
ご覧いただけます。

木津川市議会

検索

②議会の活動が、より見
えるように取り組みを。

継続審査

①議会議員の定数2名以
上の削減。
府内の他市と比べて、最
も低い状況にあるが、本
市の財政状況を鑑み、今
後の議論に期待する。

請願者 福澤 修一
紹介議員 谷川 光男・谷口 雄一
上減らす改革が必要。
なお、報酬についても

議員の定数削減を求める
請願書

請願

同規模の近隣自治体と
比較し、本市より少ない
定数で運営されている状
況があるので、行政だけ
ではなく、議員も2名以
上減らす改革が必要。

支所の事務事業を見直しへ

補正予算特別委員会

9月7日に委員会を開会。一般会計予算を1億2422万円増額し、285億4508万円とするもの。全員賛成で可決。

主な質疑

両支所が機械警備に

Q 加茂・山城両支所の宿直が10月から廃止され、機械警備となる。特に加茂支所は複合施設だが、使い方はできているのか。

A 広報掲載や、チラシを配布している。また、関係者と協議し、理解を得ていると認識している。

ふるさと納税

Q ①民間に委託する内容は。②今後の展開は。③人気の高い記念品は。

A ①記念品の集配と発送を民間委託にする。職員は企画とPR。②市の特

産物のPRと開拓。チラシを市内外で配布したい。③1位ブルーベリー、2位特別牛乳、3位柿の詰め合わせ。

ごみ減量効果を促進

Q ごみ袋有料化財源活用として雑紙袋1千枚、獣害防止ネット200枚配布となっているが、少ないのではないか。また、他に施策は考えているのか。

A ごみ有料化出前講座等で配布予定。今後は、アンケート調査をしたい。

加茂支所の雨漏り修繕

Q 雨漏りは、5年前から起きているが、設計費

146万円の予算では少ないのではないかと。また、今後の支所のあり方は。

A 3年前にも側壁からの防水工事をした。今回は屋上全面の防水工事。施設の長寿命化を見極めていく。

学校施設管理事業費

Q 小学校施設管理事業費401万円の内容は。また、避難所としての体育館に雨が入るのはどうなのか。

A 相楽小の校舎雨漏り修繕、木津川台小と南加茂台小の体育館の雨漏り修繕、木津小の非常階段修繕等。体育館の構造上

ゲリラ豪雨等で横から雨が入ることもある。構造は変えられない。

家庭的保育の事業所開設
Q 家庭的保育事業者を7月に認可したが事業の内容は。
A 梅美台6丁目の住宅を改修。0歳から2歳までの5人の定員で、現在2人が入所。保育士は5人配置予定。



梅美台にできた「おうち保育室sora」

補正予算第3号の主な事業

循環型社会推進基金積立 2258万円新
児童生徒数増加対応備品購入 1000万円新
道路橋りょう災害復旧事業 3400万円増
ふるさと納税の促進(ポータルサイト加入充実等) ... 485万円増

委員長		副委員長		委員		委員	
柴田	はすみ	片岡	廣	谷口	雄一	長岡	一夫
西山	幸子	山本	和延	伊藤	紀枝	炭本	範子
谷川	光男	倉井	弘一	酒井	克伊		

2ポイント改善

決算特別委員会

決算特別委員会（河口靖子委員長、酒井弘一副委員長）は、議長と監査委員を除く20人で、9月19日、20日、21日の3日間、29年度一般会計歳入歳出決算の審査を行った。

決算収支は3億4974万円で、繰越金9497万円を引いた実質収支は2億5477万円の黒字となった。

基金残高（貯金）は113億9062万円で、地方債（借金）と債務負担行為の残高は361億8854万円（前年度比42億3217万円減）となった。

経常収支比率は95・8%（前年比2ポイント減）となり、微小ながら財政状況が改善となった。

主な質疑

（市長室・総務部等）

ふるさと納税の活用

Q ふるさと納税の基金の使い道は。

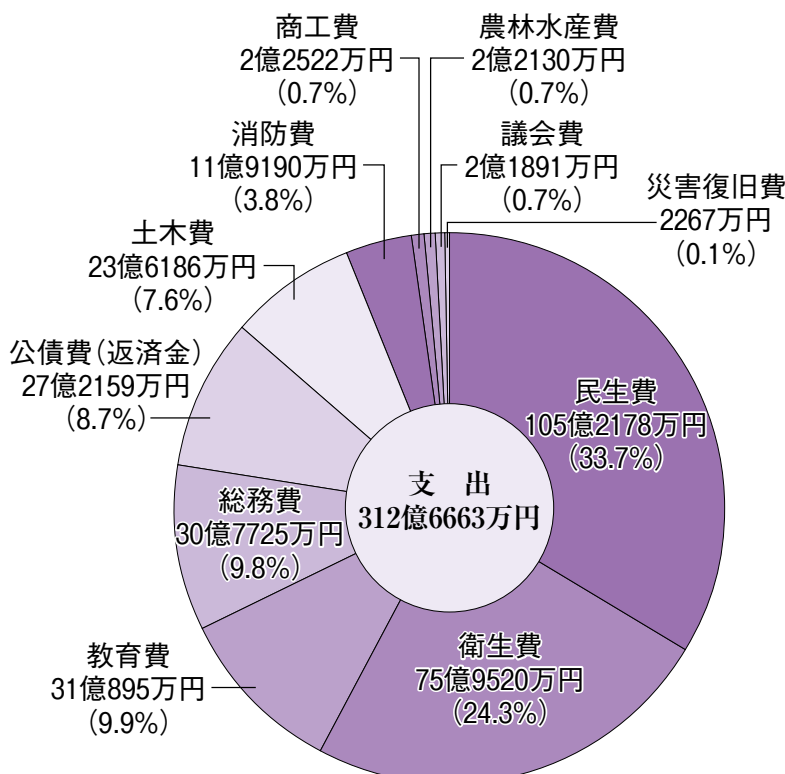
A 29年度は、上人ヶ平遺跡の解説板と椿井大塚山古墳の案内板に130万円、特色ある学校づくり推進事業に50万円。



ふるさと応援基金で更新した上人ヶ平遺跡公園の解説板

主な事業の決算額 （29年度一般会計）

- ・クリーンセンター整備 48億5792万円
 - ・城山台小学校校舎取得 3億5935万円
 - ・放課後児童クラブ施設整備（棚倉・城山台） 1億4961万円
 - ・中央体育館屋根等改修 1億5914万円
 - ・城山台地域集会所建設 1億1602万円
 - ・JR奈良線高速化・複線化負担金 1億1299万円
 - ・広域道路網の整備（東中央線と関連道路整備） 2億2941万円
 - ・幼小中普通教室空調設備整備手法の検討 653万円
 - ・内水対策（排水ポンプユニットの追加購入等） 1354万円
- （万円未満の金額は切り捨て）



29年度決算

経常収支比率

交通安全施設整備の進捗

Q カーブミラー、区画線等の工事件数と修繕件数は。また「ゾーン30」の未施工箇所はあるのか。

A カーブミラーの新設12件、修繕22件。「ゾーン30」における路面標示（兜台）に120万円。現在までに4件実施。他に要望箇所はない。

（市民部・健康福祉部）

子育て支援の充実

Q 子育て医療助成費の負担割合がこの2、3年府28%、市72%になっているが見直しの状況は。また、この制度実施により、国保の国庫負担金

が減額されているが、今後の見通しは。

A 府の制度に市が上乗せして実施。現在、府で検討中。

30年度から未就学児に対しての減額措置は廃止された。



歩行者の安全確保のための「ゾーン30」

ごみ拠点収集に補助を

Q ごみの拠点収集の方が安価である。なぜ市全体でできないのか。何らかの差をつけては。

A 補助金やネット支給等の援助をする。市内全域に周知していきたい。

（建設部・教育部等）

薬師橋の工事内容

Q 薬師橋の工事の概要と目的は。

A 加茂町山ノ上にあり、

延長11・6m、幅員3m、長寿命化対応のため早めに補修を行った。

適応指導教室の財源

Q 府から537万円の大幅予算がついた背景は。

A 府に対して3つのプラン①2教室を増設②家庭訪問を実施③アドバイザーの派遣を提案したことが評価された。

自由討議

管理委託料と駐車料金の収支のバランス問題など。

反対討議

● 職員の減により残業増。健康管理に問題。

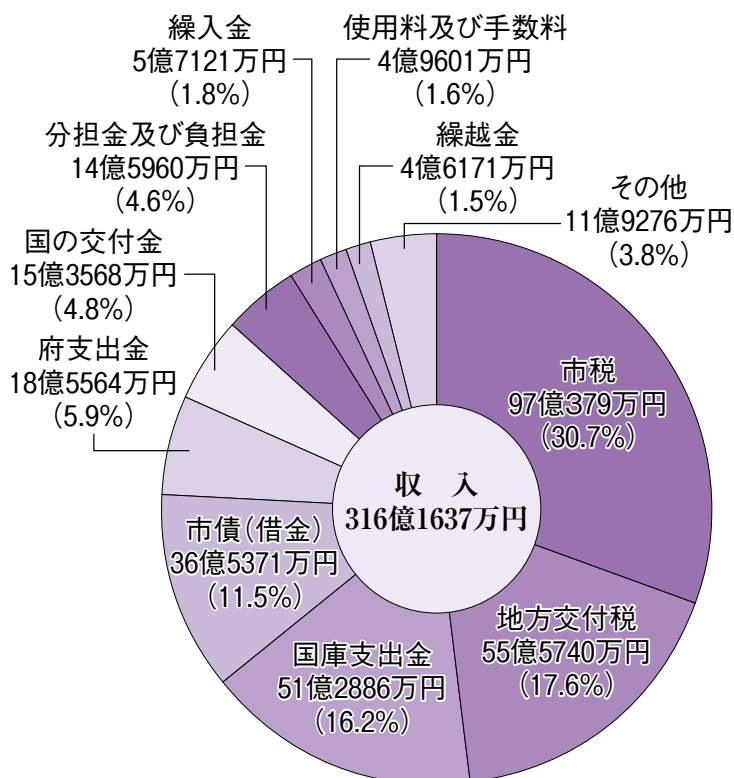
● 基金が潤沢にあり、市長判断は誤り。

賛成討議

● 厳しい財政の中、多数の事業実施を評価。

賛成多数で認定

① 職員の健康管理に関わること。② 小谷駐車場が提案。



ごみ袋有料化で 基金創設

厚生委員会

9月14日に委員会を開会し、
認定3件、議案11件を審査した。

全議案認定・可決

創設 循環型社会推進基金を

修正案を提出

条例第1条から「を進め、次世代に豊かな自然環境を継承する」を削除。

修正案は賛成少数で否決

原案は全員賛成で可決

Q 条例第1条の「次世代に豊かな自然環境を継承する」の文言は、拡大解釈の危険性を生む。削るべきでは。

A 懸念は不要。市民参加で使途を決めたい。

Q 条例第2条の「基金は手数料をもって充て」は誤解を生むのでは。

A 手数料と必要経費は一般会計に計上し、利益金だけ基金に繰り入れる。

福祉医療（障がい者）に 所得制限

Q 過去10年を見ると対象者は200人増えた。

一方、事業費は減少。さらに削るのはおかしい。

A 他の福祉施策があり、

施策の公平性を第一にしたもの。

反対討論

対象者は増えているのに事業費は減少。見直しの必要はない。

賛成討論

社会人として立派に働き、高い収入がある方には負担してもらうべき。

賛成多数で可決

兜台保育園を完全民営化

Q 市立保育園をもっと残すべきだ。

A 公立保育所民営化等実施計画が進行中。現在は1期目。3年後に計画を検証し2期目に進みたい。

反対討論

市立保育園の民営化や統廃合で保育の質の低下を懸念する。



2番目に完全民営化になる兜台保育園

賛成討論

民間でできることは民間でとの計画通り進めるべき。

賛成多数で可決

建物と遊具等を無償譲渡

Q 愛光福祉社会へ譲渡する建物の価格はいくらか。

A 当時の建設費で3億3894万円。遊具等は不明。

反対・賛成討論

兜台保育園を民営化する保育所条例の討論と内容。

賛成多数で可決

29年度国保決算

収入は82億2822万円、支出は78億9683万円。実質単年度収支は

3億3139万円。

Q 不用額が前年比2倍になったのはなぜか。

A ここ2年間で医療給付の伸びは鈍化しているため。

全員賛成で認定

29年度介護保険決算

収入は46億2442万円、支出は43億7824万円。実質単年度収支は2億4618万円。

Q 全国的に介護利用は減少しているが、本市はどうか。

A 本市も同じ傾向。

反対討論

要介護認定者の26%にあたる要支援1・2を保険給付から外した決算。

賛成多数で認定

研修報告

厚生委員会

官民学で積極的に連携

8月7日、愛知県豊明市で「地域包括ケア」を研修。

今後急増する高齢者、

中でも要支援者、要介護者が増えていくが十分対応できるのかの課題に、在宅サービスの利用が少ない一方、要介護度が異

常に多く重度化する実態を前に、自立支援を目的とした事業を展開。商店の宅配や、銭湯の

送迎バスの利用を市が市民に利用促進。大学、URの協力で「まちかど保健室」を開設し、市も運動教室を開設。

徹底して地域資源を生かし、市民が住み続けられる環境をつくる姿勢を学んだ。

市民の協力でごみ減量

8月8日、岐阜県多治見市で「環境型社会システム構想」を研修。

18年前に23分類のごみ

分別を始め、その5年後に指定ごみ袋の料金を引き上げた。大10枚入り、中15枚入り、小25枚入りがいずれも1セット510円。本市より少し高額。市民1日1人当たりのごみ量は451gで本市より少し多い。

23分別以後、市はごみ減量に本気だと市民が認識してくれたことが大きい。また市政の満足度調査でも「ごみ・リサイクル」が常に上位で、市民の積極的な協力がうかがえた。

ラブホテル建築規制条例を改正

産業建設委員会

9月5日に委員会を開会し、認定2件、議案3件、報告3件を審査した。

全議案認定・可決

29年度下水道決算

Q 水洗化率について前年度と同じ94%であるが、水洗化率を上げる手法は。A 向上対策として、戸別訪問により接続を願っている。

29年度水道決算

Q 債権対策は。A 現在は、給水停止、督促状・催告書の発行で対応している。今後もクレジットカードによる収納、口座振替を勧め、未納防止に努める。

市のラブホテル建築規制条例の一部改正

Q 建物を建築した後に、ラブホテルに改築する場合などの市の対応は。A 建築・修繕・模様替えを行う際、建築確認申請前に届け出る必要がある。その際には審議会へ諮問し、ストップをかけることとなる。

全員賛成で可決

土地改良事業の実施

30年7月6日に発生した豪雨災害により、被害を受けた農地1件、道路2件について、復旧事業を実施するもの。

全員賛成で可決

全員賛成で認定

全員賛成で認定



「ふじたまちかど保健室」 豊明市



30年7月豪雨による被害状況 (梅谷)

移動図書館「いずみ号」の廃止

総務文教委員会

9月3日に委員会を開会し、認定4件、議案1件、報告3件を審査した。

全議案認定・可決

図書館条例の一部改正

「ふるさと創生事業」により、平成3年に移動図書館事業を開始。バスの老朽化により、今年度末で廃止。

(梅美台・州見台)。

Q 廃止することで小学生や保育園児への影響はないか。

A 団体利用には貸出し要請があれば対応したい。

Q 廃止理由は。

Q 貸し出し冊数は。
A 29年度は1万7537冊。

Q 利用者数は。
A 29年度は624人。

Q 代替案も協議すべきでは。

Q 主な利用団体は。
A 児童クラブ（高の原・梅美台・州見台・相楽台・木津川台）、保育園（木津・相楽）、小学校

A 30年度の車検時をめぐりに、限られた予算と人員の中で市内の図書館サービスの充実に取り組む。

Q 小学校などの図書室を活用し、一般開放など工夫できないか。

A 研究していきたい。

反対討論

○子どもたちの豊かな感性を育む移動図書館は大切である。



31年3月末で廃止となる「いずみ号」

○バスの廃止後の代替案はない。市民サービスが後退していく。

賛成討論

○見直しの時期。限られた予算で、より効果的な事業を進められたい。
○財政厳しい中、多くの新規事業を控え、必要な事業を優先すべき。

賛成多数で可決

旧加茂町4財産区の決算

Q 旧北村旧兔並村旧里村財産区の財政調整基金利子が有利になっている理由は。

A 定期運用を16カ月にするなど、有利な利率で預け入れ、運用したため。

4 決算とも
全員賛成で認定

報告案件

学研都市京都土地開発公社事業決算

Q 城山台の土地の取得目的は。

A 木津高校へのアクセス道路として取得。30年6月に買い戻した。

緑と文化・スポーツ振興事業回事業決算

Q 指定管理しているいずみホールの利用者減の理由は。

A サークルの高齢化によるものと聞いている。

奈良市北部図書館の利用

9月30日から、奈良市北部図書館の図書の貸し出しがスタート。奈良市中央図書館・西部図書館の予約借り受けもできる。

9月13日に本格稼働

クリーンセンター建設特別委員会

9月6日に委員会を開会し、センターの取り組み状況について報告を受けた。

○主な経過

30年8月竣工

9月13日より組合で管理運営

○事業費

総事業費 約109億円

内訳

造成費 約13億8千万円

施設整備 約89億6千万円

その他 約5億6千万円

主な質疑

Q 排ガス等の法令規制値と管理目標値の関連は。

A 管理目標は、法令規制数値を超えないことを定めた数値。

Q 地震時に電源が切れても施設は稼働するのか。

A 地震時に電源が切れても施設は稼働するの。

A ごみを燃やした熱を利用した発電で稼働する。

Q 環境監視委員会の立ち上げの予定と、学識経験者の依頼は。

A 10月上旬に予定。候補者に依頼し、了解を得ている。

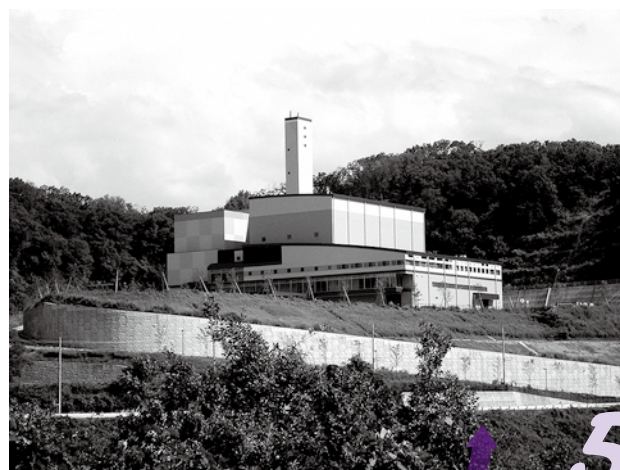
Q 毎日のごみ受け入れ量の公表を。

A 組合において、ホームページで公表の予定。

今回で特別委員会の調査を終えるので、同委員会が設置されてから供用開始までの経過報告と審査について、本会議で報告することを確認して閉会した。その後、現地で最後の説明を受けた。



完成した環境の森センター・きづがわを視察



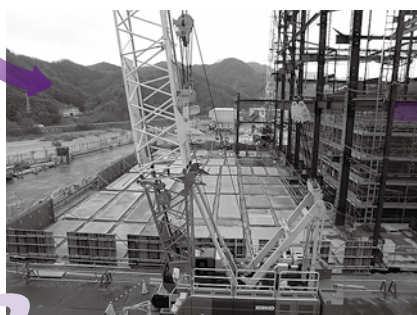
クリーンセンター竣工(30年8月末)



着工前
敷地南側から撮影
(28年5月)



ごみを一時的に貯めるごみピット
(地下部)の工事(28年8月)



ごみ収集車が出入りするプラットホーム
(地上部)の工事(29年3月)



進む地上部工事(29年7月)

クリーンセンター 完成までのあゆみ

議員定数削減を求める請願書を継続審査

議員定数及び議員報酬検討特別委員会

7月20日、8月21日、9月10日、9月27日に委員会を開会し、審査を行った。

7月20日

「総合的な議員定数の考え方」を議論

委員の主な意見

- 本市は人口が増加しており定数削減はすべきでない。
- 同人口規模の他市では定数20人でも中身のある議論が行われている。
- 削減することと無投票は別問題。市民が求めているのは議会改革。
- 前回の選挙は無投票であった。市民からも削減すべきとの声も聞く。
- 現状維持の定数では、市民の目は厳しい。
- 議員は市民の代表者であり、削減すると役割りを果たせない。

8月21日

「議員報酬のあり方について」を議論

委員の主な意見

- 合併時に、報酬を府内の一番低い市に合わせた。なり手不足の解消のために、もう少し報酬を上げては。
- 議員報酬だけで生活するのは厳しい。職員の平均給与くらいが必要。
- 他市の報酬の状況から引き上げてはと考えるが、職員給与をカットしており、今は市民の理解が得られない。
- 報酬は生活給ではない。市民生活が苦しい中で、議員に対する市民の見方は厳しい。

「議員定数と報酬を合わせた考え方」を議論

委員の主な意見

- 議員定数を2人削減し、その財源で報酬を引き上げてはどうか。
- 議員定数は他市と比べて20人に削減すべき。報酬を引き上げてても良いが財政状況から現状維持。
- 議員報酬を上げることには市民の理解が得られない。報酬、定数も現状のままと考える。
- 定数は、現状のまま。職員給与をカットしたので、議員報酬も5万円カットすべき。

9月10日

「議員の定数削減を求める請願書」を審査

- 1518筆の署名をそえて提出。
- 紹介議員の谷川議員、谷口議員の出席を求め、質疑を行った。
- Q 議員には市民の声を議会に伝えるという大切な役目がある。
- 削減は、議会弱体化につながるのでは。
- A (紹介議員) 定数には定義がない。
- 議会の機能を維持するため、他市との比較をし、運営に問題ないとの考えから、2人以上の削減が良いと考える。

定数2人減の発議を継続審査に

9月27日、本委員会に付託された議員定数を2人削減する条例改正案を審査。

今後、議会基本条例に基づき市民の意見等を聞く場を持つて審査を行う必要があることから、全会一致で閉会中の継続審査とした。

審査の結果、本請願は閉会中の継続審査と決定。

	人 口 (H30.4.1現在)	議員定数	議員報酬	当初予算額 (平成30年度)	予算に対する 議会費の割合
木津川市	76,447人	22人	35万円	283億円	0.8%
福知山市	78,612人	24人	41万円	404億円	0.8%
長岡京市	81,073人	24人	45万円	272億円	1.1%
城陽市	76,825人	20人	44.5万円	352億円	0.7%
京田辺市	69,207人	20人	37.5万円	241億円	0.9%

議員定数の削減について 『公聴会』を開催します

意見を述べて
みませんか

日時

11月25日(日)

午前9時30分から

(午後からも実施される予定です)

場所

全員協議会室

(市役所5階)

議員定数及び議員報酬検討特別委員会では、「木津川市議会議員の定数を定める条例の一部改正について」の議案の審査にあたって、反対・賛成5人ずつの公聴会を開催します。

公聴会で意見を述べたい方(公述人)は、所定の申込書(ホームページ・議会事務局に備え付けてあります)に住所・氏名・年齢を明記し、意見を述べようとする理由および問題に対する賛否を記入のうえ、議会事務局まで持参または郵送してください。

提出期限 11月12日(月)午後5時まで(必着)

応募多数の場合は、特別委員会で選定の後、応募者に通知します。なお、公聴会は午前・午後とも行う予定ですが、どちらに来ていただくかは、委員会で決定されますので、ご了承ください。

問い合わせは、議会事務局まで TEL 0774-75-1240

組合議会報告

東日本大震災の被災被保険者に減免の延長

(後期高齢者医療広域連合)

8月24日、定例会開会。
同意2件、承認4件、認定2件、議案2件を審議。

組合の名称を「木津川市精華町環境施設組合」に

(西部塵埃処理組合)

8月27日、第1回臨時会開会。議案6件を審議。

主な案件は、

29年度一般会計決算は、収入9億9842万円、支出9億7554万円。収入は分担金、国・府支出金。支出は運営経費等。

○木津川市および精華町で一般廃棄物収集運搬業の許可及び更新の事務を共同で処理。

○組合の債権条例の制定。

○組合の名称「相楽郡西部塵埃処理組合」から

29年度特別会計決算は、収入3491億2401万円、支出3383億613万円。収入は国・府・市町村支出金。支出は保険給付費等。

「木津川市精華町環境施設組合」に変更。

補正予算は打越台環境センター撤去工事の調査費として、30年度から31年度で限度額6400万円の債務負担行為を補正をするもの。

賛成多数で認定

震災で被災した被保険者の減免延長の条例の一部を改正。

決算は黒字

(京都地方税機構)

8月4日、定例会開会。議案2件、同意2件を審議。

副広域連合長に奥田敏晴氏(城陽市長)と、山内修一氏(府副知事)を選任。

監査委員に家城功氏(与謝野町)を選任。

全員賛成で同意

29年度一般会計決算は、収入24億6671万円、支出24億6570万円、収支は101万円の黒字。本市が負担する運営費は6591万円。

賛成多数で認定

全議案全員賛成で可決

全員賛成で可決

採決結果

賛否の分かれた議案のみ掲載

賛成=○ 反対=× 退席=△ 欠席=空白 議長は採決に加わらない

議員名	会派名	議案名(第3回定例会)								
		平成30年度一般会計補正予算第2号	平成29年度一般会計歳入歳出決算の認定	平成29年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	平成29年度介護保健特別会計歳入歳出決算の認定	福祉医療費の支給に関する条例の一部改正	修正動議 循環型社会推進基本条例の制定	保育所条例の一部改正	財産の無償譲渡	図書館条例の一部改正
谷口 雄一	さくら	○	○	○	○	○	×	○	○	○
森本 隆	さくら	○	○	○	○	○	×	○	○	○
高岡 伸行	さくら	○	○	○	○	○	×	○	○	○
山本 和延	さくら	○	○	○	○	○	×	○	○	○
伊藤紀味枝	さくら	○	○	○	○	○	×	○	○	○
尾崎 輝雄	さくら	○	○	○	○	○	×	○	○	○
倉 克伊	さくら	○	○	○	○	○	×	○	○	○
長岡 一夫	民主未来	○	○	○	○	○	×	○	○	×
河口 靖子	民主未来	○	○	○	○	○	×	○	○	×
炭本 範子	民主未来	○	○	○	○	○	×	○	○	○
西岡 政治	民主未来									
西山幸千子	共 産	○	×	×	×	×	○	×	×	×
森岡 譲	共 産	○	×	×	×	×	○	×	×	×
宮嶋 良造	共 産	○	×	×	×	×	○	×	×	×
酒井 弘一	共 産	○	×	×	×	×	○	×	×	×
森本 茂	木津川	○	○	○	○	○	×	○	○	○
片岡 廣	木津川	○	○	○	○	○	×	○	○	○
谷川 光男	木津川	○	○	○	○	○	×	○	○	○
柴田はすみ	公 明	○	○	○	○	○	×	○	○	○
島野 均	公 明	×	○	○	○	○	×	○	○	○
九社前聿朗	無会派	○	×	×	×	×	○	×	×	×
高味 孝之	議 長	—	—	—	—	—	—	—	—	—
採決結果		承認	認定	認定	認定	可決	否決	可決	可決	可決

さくら=さくら会 民主未来=民主未来クラブ 共産=日本共産党木津川市議員団
木津川=木津川の会 公明=公明党 無会派=会派に属さない議員

一般質問

17人が市政を問う

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、説明や報告を求めたり、行政に方針を問うもの。

答弁者の肩書きは省略しています。

自治体業務にAI導入を

国の実証実験を活用し検証したい



さくら会

尾崎 輝雄

Q

①市は、これまで進めてきた公共施設の指定管理や民間委託、保育園の民営化など、行財政改革をどう評価するか。

②今後10年～20年の間に日本の労働力人口の約49%の仕事がAIやロボットに変わると予測される。国は、地方自治体に業

務の効率化、職員の負担軽減としてAIを進めている。市の業務もAI導入を積極的に考え、調査すべきである。

③今後も、職員数の削減を進め、行政のスリム化が必要である。現在の状況は。以前の比較は。

④今後、さらなる経常経

A 市長・政策監他①適

正な事業運営が行われ、行革における効果的

⑤職員数を削減しても、社会保障サービス等を維持することが必要である。職員が地方行政を学ぶ研修も必要である。

な選択と評価している。
②AI導入については、国の実証実験を活用して検証したい。
③適正な職員数の把握に努める。
④経常収支比率の改善を目標の一つに掲げ、目標達成に取り組む。
⑤全職員対象に研修を実施する。



民営化される児台保育園

後期高齢者の人間ドック助成廃止

財政支援を国に強く要望する

Q 29年度、国の人間ドックの費用助成に係る特別調整交付金が大きく減少した。今後の見通しと取り組みは。

A 市民部 後期高齢者の人間ドック助成を、3年で段階的に廃止する方針が国から示された。市は、制度に対する財政

政支援を国に対し強く要望していく。

防災対策は万全か

Q ①防災ハザードマップの見直しは。②河川の拡幅をはじめとする「流す」は。③雨を調整池などに蓄える「ためる」

はなぜか。

A 総務部①府が変更作業を完了次第、ハザードマップを更新。②国

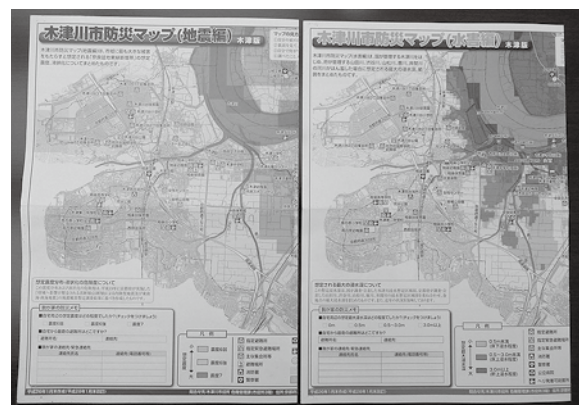
が避難所となっているのを中止された「加茂山の家」が避難所となっているのはなぜか。

は。④被害を最小限に抑える「備える」は。⑤避難指示・避難勧告発令時に避難できる体制は。⑥



民主未来クラブ
長岡 一夫

・府に要望する。③計画はしていない。④国・府と協力して、一体的に取り組む。⑤地域ならびに自主防災組織と連携を図っていく。⑥施設の電気・水道のライフラインが供給されているため、避難所として継続していく。



見直しされるハザードマップ



ティッシュ箱まで可燃ごみか(クリーンセンター見学パンフから)

新冊子の「ごみ分別の間違いを正せ 間違いがないよう補足資料を準備

Q 市民にごみ有料を強いながら、新しい冊子のごみ分別に間違いがある。可燃ごみとしての収集は「紙類」ではなく「紙くず」では。古着は可燃ごみか。誤りを正せ。ごみ有料は中止せよ。

A 市民部 勘違いや間違いが起らないよ

洋式トイレを増やせ

Q ①高の原小の洋式トイレは18%。これでもいいのか。②トイレを我慢している子どもたちの

内看板は新しくせよ。



日本共産党
宮嶋 良造

A 教育部①整備は先の計画。②養護教諭と相談する。

高の原駅案内図を新しく

Q 市の「西の玄関口」にふさわしく古い案内看板は新しくせよ。

A マチオモイ 設置者に更新を働きかける。

市財政で市民生活を守る

Q ①決算での監査委員の報告は。②地域循環型経済で財政を良くし市民生活を守れ。

A 総務部①昨年度は好転し、財政指標は良好な数値である。②地域外からお金を獲得し、地域内で循環させる。

Q 頻発している大型台風等から問う。①小川流域は市の中心部を流れ、重要施設が多くある。排水ポンプの強化が必要では。②反田川伏越部のさらなるポンプアップの増量の考えは。③通学路にある危険な民間ブロック塀の対応は。④

学校の投てき板等の撤去や、公共施設に付随するブロック塀の対応は。⑤防災行政無線が聞こえ難いとの声が多い。対応は。⑥自主防災組織の強化が必要である。「自助・共助・公助」が活かせるように、活動をサポートするべき。

A 建設部・教育部他 ①国・府と連携し、小川流域での安全安心に向けた取り組みを進める。②井関川の流下能力等確認し、府に要望。③ブロック塀の除却費用の支援制度創設を府で検討中。④教育関係は全て撤去。公共施設は撤去の手続き

防災・減災に取り組むために さまざまな手段を活用し情報伝達



さくら会
伊藤紀味枝

中。⑤防災情報メールやFAX、市のHP等あらゆる手段を活用し情報伝達する。⑥災害時にその機能を十分に発揮できるように、訓練や活動に係る費用の一部を助成金として交付。避難所の運営に取り組んでもらえるよう進めたい。



基準に適合したブロック塀に(木津小学校)



奈良市と木津川市との連携・協力に関する包括協定(30年1月締結)

奈良市との連携協定を推進せよ

あらゆる分野で取り組みを進める

Q ①具体的な連携・協力項目は。②共通のロゴマークを作成するなど、一体性を醸成するためのPRが重要では。

A 政策監 ①大仏鉄道ウォーキングイベント、奈良市立北部図書館の共同利用、相楽中部消防組合に係る消防はしご

Q ①平時からの現場確認、実地訓練が重要では。②要支援者の避難支援体制は。

A 総務部・健康福祉部 ①防災訓練時に地域住民や自主防災組織と協働して実施。防災研修に参加し、平時の備えの重要性について呼びかけている。②国の指針に則り、名簿登録・個別避難計画の策定を行っている。直近の対象者数は1873人(内、登録者1011人・計画策定者477人)。今後も勧奨通知等を通じて、制度内容の周知に努める。



さくら会
谷口 雄一

事業があれば進めていく。避難所開設は万全に

①平時からの現場確認、実地訓練が重要では。②要支援者の避難支援体制は。

葬儀生前契約事業を

実施する予定はない

Q ひとり暮らしで生活にゆとりのない高齢者に死後の葬儀、納骨などの不安解消のため、葬儀生前契約事業をしようか。

A 健康福祉部 身寄りのない方の葬儀は市で実施しており、葬儀生前契約事業の予定はない。

自転車ヘルメットに助成

Q 自転車利用時での事故や転倒から頭を守るヘルメットの普及促進を図るため、子どもと高齢者に購入費の助成を。

A 健康福祉部 年一回交通安全ルールの理解と安全意識を高めるため、



公明党

島野 均

交通安全教室を開催しており、購入費助成の予定はない。

フードドライブを

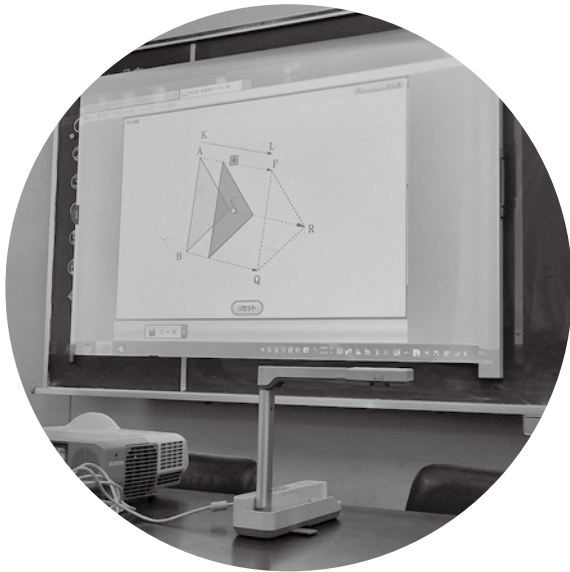
Q ①家庭で残った食品を学校や職場に持ち寄り、それを福祉施設や子ども食堂に譲渡するフ

ードドライブを開催しては。②市子ども食堂の現状は。

A 健康福祉部①フードドライブの取り組みは広がり始めている。安全性の確保、需要と供給の課題もあり、広域的な取り組みで検討する。②申請中が1団体ある。



思いでの丘霊園の合葬墓地



デジタル教科書でわかりやすい授業を(木津第二中)

学校のICT環境整備を加速せよ

先進地を分析し推進していく

Q 2020年度からの新学習指導要領改訂では情報活用能力が必須。教育の情報化を支える基盤整備が必要。取り組みを問う。①情報活用能力の育成は。②学校のICT環境整備は。③教育情報セキュリティ確保は。④新しい社会『5G

』を生徒に紹介する機会を持たないか。

A 教育長・教育部①情報活用の実践力、参画力育成を図っている。②導入済の電子黒板とデジタル教科書を積極的に活用している。今後もICT導入を推進する。③情報の漏洩等にリスクを

減らす対策を図っている。④地域の研究機関に働きかける。



さくら会

森本 隆

電子自治体の推進加速を

Q 国は、地方自治体に電子自治体の普及拡大を図っている。市の業務効率化推進の課題を

問う。①ペーパー第一主義の改善と議事録発行期間の短縮を実施せよ。②事務手続きのオンライン利用を拡大せよ。

A マチオモイ①ペーパーレス、議事録発行期間短縮に取り組む。②児童手当の現況届を予定。来年4月から電子化を導入予定。

Q 城山台開発に関して平成9年作成の「全体防災計画」がある。①どう評価するか。②消防署移転地に決めた理由は正当か。③土砂搬入の経緯は。

A 副市長・建設部他①「計画」は市が評価するものでない。②当該

答弁拒否は、正当な理由がない。質問は保留するが撤回しない。

土地周辺は当初から候補地の一つだった。③バイパス工事の土砂の仮置きを許可した。

Q ①突然戸別受信機を中止した本当の理由は。②避難所の設定状況は。③もっと快適な避難所を。

A 総務部①現行機能の利用促進を軸とする事業展開へ変えた。②自主避難所は3カ所、指定

城山台土地の利用計画は 係争中の案件で答弁を控える



日本共産党

酒井 弘一

危機管理の課題

避難所は19カ所。③簡易トイレも準備。
木津地域に資料館等を

Q 埋蔵文化財などの常設展示場や大きなサイズの美術作品が展示できる施設は、市民の長年の願いだ。

A 教育部 新たな展示施設の計画はない。



相楽中部消防本部移転地に決まった城山台9丁目



「恭仁っ子大作戦」は瓶原への移住を呼びかけている(自費作成)

空き家利活用の受け皿づくりは 府の制度を活用し進める

Q 3月に空家等対策計画が策定された。取り組みと成果を聞く。

①空き家予防策として、高齢者にフォーラムを開催し啓発しては。②特定空家の対策は。

A マチオモイ①市民と一緒に考えたい。②立入り調査をする。

Q 移住定住を促進するため①市のホームページの更新は。②移住コンシェルジュが必要では。③交流センターの整備は。④補助金や支援金の創設は。

A マチオモイ①検討する。②ナビゲーターを認定する。③お試し移



民主未来クラブ

炭本 範子

住は考える。④しない。

Q 恭仁小学校を特認校に

小学校小規模校はどこか。

A 教育部 相楽台・恭仁・南加茂台・上粕・棚倉各小学校。

Q ①地域住民が守ろうとする学校をなくすることはできないのでは。②コミュニティスクールの導入は。

A 教育長①地域で議論してほしい。学校現場と協議しながら、行政的な検討する。②モデル的に導入の検討を進めた

他に「聞こえの共生社会づくり」を質問した。

高齢者肺炎球菌ワクチンに助成を

国の制度を周知徹底する

Q 高齢者肺炎球菌ワクチンは、26年度から国の制度で65歳以上で5歳刻みに行われていたが、来年度で終了し、65歳のみとなる。①接種率は。②市独自の助成の考えは。③制度が変わることの周知方法は。

A 健康福祉部 ①26年54・2％、27年43・4％、28年42・7％。②国の制度を利用できるよう周知徹底する。③個別通知、ホームページ、広報で周知する。

避難所訓練の充実を



公明党

柴田はすみ

Q 災害時の対応として①避難情報を出すタイミングは。②避難所の体制は。運営はHUG（避難所運営ゲーム）を利用しているか。③一人暮らしの高齢者の避難は。

A 総務部 ①明るい時間帯に安全に避難できるように早めに避難準備・

高齢者等避難開始を発令する。②職員2名体制の3交代で対応。自主防災会の連絡会で活用。③民生委員から気になる方へ声掛けをしよう。

登下校の荷物を軽く

Q 通学時の重すぎる荷物について、声はあがっていないか。

A 教育部 学校と協議、検討する。



重すぎる荷物の改善を



山城路線は新祝園駅まで延伸を

高齢者が活動したくなる市へ

ニーズの把握にアンケートを実施

Q 高齢者にとって便利で外出したくなるまちづくりのため、民間企業と連携をし、コミュニティバス路線を大きく見直す時期に差しかわっているのでは。

A 市長 企業との連携は大切。地域公共交通連携協議会で可能なら

高齢者にとって便利で外出したくなるまちづくりのため、民間企業と連携をし、コミュニティバス路線を大きく見直す時期に差しかわっているのでは。

ここから協議をお願いしたい。

Q 山城地域では、近鉄新祝園駅を利用される方が多いと考える。

新祝園駅まで延伸して欲しいというニーズは、どの程度把握しているのか。また調査すべき。



さくら会

高岡 伸行

A マチオモイ 相当数の利用があることは理解している。

Q 今後、高齢者の免許返納の自主返納を考えると、バス運営は、活動したくなるよう民間と連携した大きな改革が必要では。

A 市長・副市長 協議会で十分議論ができるようにしていく。利用者の増加を目指す。

Q 高齢者にアンケートを行い、ニーズの高い路線を検討すべき。

A マチオモイ 地域公共交通網形成計画の見直しの中でアンケートを実施し、ニーズの把握に努める。

Q 南陽高校附属中学校は、市内小学校13校の内、6校は入学者がない。
特に加茂地域、山城地域は誰も入学していない。合併により加茂、山城に教育委員会が無くなったのが原因では。

A 教育部 附属中学校より依頼のあった学校説明会の案内は配布した。入試は、本人や家庭の意向。各家庭の教育方針等に基づき受験された。合併が原因ではない。

A 健康福祉部 保育園・認定こども園等通園区域は市内全域であり、

町域のみの不均衡な運行等の理由により廃止。

Q 廃止で巡回地区の図書貸し出しができなくなる。理解できる説明を。
A 教育部 利用者には不便をお掛けする。バスの老朽化、旧木津

南陽高附属中の進学指導は適切か 本人や家庭の意向等に基づき受験



会派に属さない

九社前 聿朗

保育園民営化の見直しを

移動図書館廃止は問題だ

保育士確保等、公民連携し受け入れ体制を万全に整える。



行政答弁「10月からご不便をおかけします」

支所の見直し 市民サービス後退 各種申請書の取り次ぎを行う

Q 支所事務の見直しにより、高齢者に関する業務の対応と、本庁への移動手段の確保は。
A 政策監 各種申請書の取り次ぎに配慮する。移動手段は考えていない。
Q 両支所の宿直業務が廃止。それに代わ

るシルバー人材センターへの委託をどうするのか。
A 総務部 本庁舎周辺の除草業務。高齢者の雇用拡大のため、委託業務を全市的に広めていく考えである。
Q 社会教育施設のインターネット予約の進捗は。

Q ①水路ののり面工事について、奈良県、奈良市と協議したのか。
②工事費の総額は。予算項目は。



民主未来クラブ

河口 靖子

A 教育部 当面は、仮予約を目指し進める。
豪雨後の水路とのり面は
③工事の目的は。
④工事期間は。
A 建設部 ①協議はしていない。②崩土除去及び修繕工事費は388万8千円。河川維持工事費から支出。③法定外水路の水路確保と越水防止のための工事。④4月に崩土除去、6月～9月に水路改修工事。



公立の中高一貫校にチャレンジを

いじめ・不登校に細やかな対応を
専門家も積極的に活用していく

- Q** ① いじめ認知件数や不登校の傾向は。② カウンセラーの紹介や区域外就学も手段として教えてあげてはどうか。③ 教員の負担軽減に夕方の電話対応を改善しては。
- A** 教育部 ① 積極的に認知した件数で、多いとも少ないとも言えない。
- Q** ① 幼稚園の希望者が今後も増えるのでは。
- 子育て支援の地域作りを
- ② いじめが原因で不登校の場合は区域外就学も可。③ 保護者との信頼関係を妨げないようにして、校長会と検討したい。



日本共産党
西山幸千子

- ② 加配が必要な子どもを受け入れるため、安易な保育園統廃合は止めよ。
- A** 教育部・健康福祉部 ① 25年をピークに微減。今後の推移を見守る。② 私立保育園でも保育士の確保で、受け入れ可能な人数は増える。
- Q** やめることだけを先に決めてスタートしている。図書館に行けない人たちのために残す手立てを十分考えたのか。小さな子にも本と触れさせたいとの願いを大切にすべき。
- A** 教育長 巡回バス廃止で削減できる経費は貴重な財源だ。

移動図書館の存続を



交通弱者も楽しみにしている移動図書館



飯盛斎場

葬祭費の見直しは

見直しは考えていない

- Q** 火葬場の使用料は。
- A** 市民部 飯盛斎場10万円、宇治市斎場9万円、生駒市斎場8万円、奈良市宮斎場5万円等である。
- Q** 国保の葬祭費5万円の算定根拠は。
- A** 市民部 市国保の葬祭費は、葬祭にかか
- Q** 火葬場の使用料は、火葬場使用料を考慮して見直しが必要では。
- A** 市民部 27年度542人、28年度597
- Q** 死亡者数の推移と推計は。
- A** 市民部 27年度542人、28年度597



さくら会
山本 和延

- る費用の一部を補助するものであり、見直しは考えていない。
- Q** 斎場整備の検討を
- A** 市民部 斎場は広域的な見地からの整備が望ましく、相楽郡広域事務組合で議論・検討が必要と考える。本市での施設整備は厳しい財政状況であり、考えていない。
- 人、29年度531人で、2040年は約990人と推計している。
- Q** 市斎場の整備を検討する時期では。

Q ①新クリーンセンターの延命には地元両区と協議せよ。②本市で何年間稼働させるのか。③府道天理加茂木津線(含浜町)道路拡幅の実施を。④大野バイパスの進捗は。

A 市長・市民部他①環境監視委員会に大規

Q 生活困窮者(生活保護世帯や母子世帯

A 生活困窮者(生活保護世帯や母子世帯

何年間本市に焼却場を置くのか 年限を区切る管理は考えていない



木津川の会

森本 茂

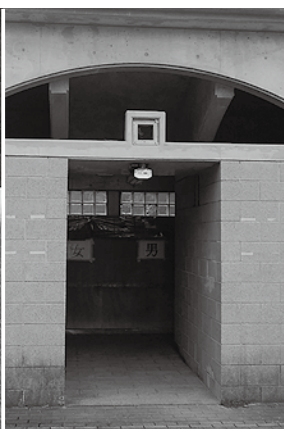
市民からの声

Q ①中央図書館前をバリアフリーに改善を。②北別館駐車場の舗装を。③ふれあい健康グラウンドに常設便所の設置を。④窓ガラス無し、和式の大里公園の便所の改善を。

A 市長・教育長他①歩道を利用願う。②舗装を進める。③予定していない。④検討を進める。



ふれあい健康グラウンドトイレを常設で洋式に



怖い大里公園トイレを修繕し洋式に



ブロック塀横のグリーンラインのある通学路に行く

災害を未然に防ぐ支援策を ブロック塀の除去に支援策を検討

Q 災害対策について。大阪府北部地震を機に、ブロック塀の安全性が社会問題化している。市民の安全、安心なま

A 総務部 安全基準を満たしていない危険なブロック塀の除去に係る費用の支援制度の創設に向け検討している。

Q 木造の耐震リフォームを進めるためにも昭和56年6月1日以降に建築された木造住宅にも適応できないか。

A 建設部 新耐震基準を満たしている木造住宅への制度の拡大は考えていない。

Q 母なる川は泣いているⅢ 市の名前にもなっている木津川河川敷

A 建設部 新耐震基準を満たしている木造住宅への制度の拡大は考えていない。



日本共産党

森岡 譲

内の不要な樹木を伐採し、本来の河川敷に戻すため、国に強く働きかけよ。

A 建設部 国土交通省が予算の範囲内で計画的に実施されている。伐採要望については、近隣自治体で構成する木津川治水会を通じて、毎年要望している。

研修報告

さらなる議会改革に向けて

議会運営委員会

7月18日・19日に静岡県
県藤枝市と掛川市で「議
会改革と議会の活性化」
「議会基本条例の見直し」
についてを研修。

(掛川市議会)
28年度に議会基本条例
の見直しを委員会で行っ
た。また、12月に議員定
数を24人から21人へと3
人削減。

29年2月より手話通訳
インターネット中継を導
入し、ママさん傍聴のた
めの託児サービスも導入。
議会報告会は市民との
情報共有と意見交換の場
と位置付け、市民の意見
をもとに行政側と政策討
論会を行い、結果を政策
提言とし市長に提出。

議会の透明化を目指して

広報編集委員会

7月26日に兵庫県西脇
市へ「議会だより」の改
善を図るため、研修を行
った。

西脇市では、ひとりで
も多くの人に議会だより
を読んでもらえるよう試
行錯誤を重ね、さまざま
な工夫をされていた。

に、工夫を重ね、より良
いものを作ろうという意
思が強く感じられた。

表紙の写真を白地枠の
レイアウトから、全面カ
ラー写真に切り替えるこ
とによって迫力を出し、
また若い人にも読みやす
いよう、従来の縦書きか
ら横書きに変更。そして
目に入りやすい見出しや、
多色刷り等レイアウトを
工夫。

また、ページ数を減ら
し、文字数も少なく、図
や写真を積極的に取り入
れ「見やすさ」「分かり

やすさ」に心掛けている。
西脇市議会は、中学生
による「子ども議会」や、
高校生を対象とした議会
報告会を開催。
常に市民目線を忘れず

研修の成果として、本
市の議会だよりも、年4
回の発行ごとに色を変え、
今回は紫色を取入れた。
ひとりでも多くの方に読
んでいただけるよう取り
組んでいく。

(藤枝市議会)
定例会ごとに事前に担
当部長より、議案内容の
理解を深めることを目的
とした「議案説明会」を
開催。

予算・決算特別委員会
は議員の半分の11人で審
議。半数としている理由
は、議員全員で審議する
ことは、本会議が形骸化
することになる。

市民からの請願を受け、
議論をし、議員定数を27
人から22人へと5人削減。



議会改革と活性化のために研修(藤枝市)



みんなに読んでもらえる「議会だより」を目指す

11月10日(土)

市民と議会のつどい(議会報告会)を開催します

市内3会場にて、「議会だより(46号)」をもとに、9月定例会の内容をご報告し、市民の皆さんと意見交換を行います。

事前のお申込みは不要です。お気軽にお越しください。

報告会の内容

1部 定例会の審議内容

2部 議員定数について

時 間	会 場	担 当
13:30~15:30	加茂文化センター (研修室1・2)	片岡・河口・倉・高味 谷口・西山・森岡
	山城支所別館 (ホール)	伊藤・尾崎・柴田・炭本 谷川・長岡・西岡・宮嶋
19:00~21:00	東部交流会館 (多目的ホール)	九社前・酒井・島野・高岡 森本茂・森本隆・山本

※問い合わせは、議会事務局まで TEL 0774-75-1240

平成30年 第4回(12月)定例会予定

月	日	曜 日	会 議 ・ 委 員 会	場 所
11月	22日	木	議会運営委員会(議会招集告示)	第1委員会室(5階)
	30日	金	本会議(開会) 招集・提案説明・質疑・委員会付託等	議場(6階)
12月	3日	月	本会議 (予備日)	議場(6階)
	4日	火	総務文教常任委員会	第1委員会室(5階)
	5日	水	厚生常任委員会	第1委員会室(5階)
	6日	木	産業建設常任委員会	第1委員会室(5階)
	10日	月	補正予算特別委員会	第1委員会室(5階)
	11日	火	議員定数及び議員報酬検討特別委員会	第1委員会室(5階)
	13日	木	本会議 一般質問	議場(6階)
	14日	金	本会議 一般質問	議場(6階)
	17日	月	本会議 一般質問	議場(6階)
	18日	火	本会議 一般質問	議場(6階)
	20日	木	議会運営委員会	第1委員会室(5階)
	21日	金	本会議(閉会) 議案採決等	議場(6階)
	25日	火	本会議 (予備日)	議場(6階)

- ・日程については、変更となる場合があります。
- ・本会議初日の1週間前に議会運営委員会が行われ日程が確定します。
- ・本会議・委員会は9時30分から始まります。どうぞ傍聴にお越しください。
- ・次回議会日程の他、今までの本会議の模様や会議録について、市のホームページ(市議会)から閲覧いただけます。ぜひご覧ください。

わたしの 意見

このコーナーへの投稿を
お待ちしております。（220字以内）



福井 さなえ さん
(木津)

こそだてで 共に育つ

初めての子育てでは、緊張
と見知らぬ土地での生活に
必死で、心身ともに苦しか
った3年間でした。そんな
中でも時々サポートを受

け、自主保育サークルも始
まり、心許せる仲間に出会
い安定してきた頃、「子ど
もは広い空の下で育てたい
」と思い、ここ木津川市へ引
越して来ました。
広い空と里山の風景があ
る木津川市。ここでの子育
てのしやすさは人のつなが
りも多く別格です。
私だけでなく、多くのマ
マもそんな実感がもてる事
を願いながら、木津川市で
の子育てを満喫中です。



黒川 嘉代子 さん
(南加茂台)

危機対応について

今夏は、日本列島に大自
然の猛威が多発、そのテレ
ビニュースに驚愕しました。
いつ襲ってくるか分からない
災害に対して、自ら危機
管理体制の学習が必要と思

います。その上で大切な
は、自身の判断です。
広報「きづがわ」の防災
記事を読み、私自身、家族
を守るよう、また地域や
社会福祉協議会で催される
防災関係の学習会に参加し、
災害時の地域協力など学び、
近隣のつながりを深め、老
若男女より添って、自ら学
習する志を持ち、危機対応
能力を養っていければと思
います。



山内 信博 さん
(山城町平尾)

ゴミを観ていると

私は定年後、清掃に携わ
る仕事をしているため、日
ごろからゴミに関して気
になっていることが多々あ
ります。
技術の進歩は、暮らしを

豊かにしましたが、道路の
路肩の多くのゴミや、リサ
イクルできる状態のペット
ボトルがそのままゴミ箱に
捨てられているのを見ると、
残念で仕方ありません。
必要な物がいつでも手に
入る現在、食品ロスも年間
646万トンもあることを
考えると、私はゴミに学び、
その処理の効率化を進めた
いと思います。

編集後記

自然の猛威が日本中を襲
い各地で災害がありました。
被害に遭われた皆さまに
お見舞い申し上げます。

被害を軽減する「防災・
減災」が重要になってきま
した。議会も行政と連携し
取り組んでまいります。

7月に兵庫県西脇市に広
報の研修に行き、斬新な構
図や前向きな手法は見習っ
ていきたいです。
今後も研修成果を活かし、

市民の皆さまに読んで頂き、
心に残る「議会だより」を
目指してまいります。

伊藤 紀味枝

広報編集委員会

委員長	河 口 靖 子
副委員長	柴 田 はすみ
委員	谷 口 雄 一
委員	森 本 隆 茂
委員	伊 藤 紀 味 枝
委員	西 岡 政 治
委員	酒 井 弘 一

お知らせ

12月定例会は11月30日(金)からはじまります。
詳しい日程は、25ページをご覧ください。

議会に関するご意見ご要望がございましたら、議会事務局
まで一報ください。

議会事務局直通

TEL 0774-75-1240

FAX 0774-72-8952

E-mail gikai@city.kizugawa.lg.jp